

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	人文社会特論D		
英文授業科目名	Researches in Humanities and Social Sciences D		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	梶浦 篤		
居室	東1-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>授業では、世界の特定の問題に関する現在までの歴史を踏まえながら、その問題はこれからどうあるべきなのか、また、そのためには我々はどうすれば良いのか、ということまでも考えていきたいと思っています。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
テキスト：浅井信雄『民族世界地図』最新版、新潮社、2004年(460円)。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業はゼミ形式で行います。参加者の数によって、多少の変更もあり得ますが、最低、各自がテキストの中からテーマを1つ取り上げて報告し、これを受けて皆で討論をしながら、理解を深めていくということになります。討論では、様々な意見（異見）が飛び交うことが望まれます。従って、留学生や社会人学生の参加も、大いに歓迎します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

ゼミは講義とは異なり、受身ではなく、皆さん自身が積極的に発言することが求められます。評価は、(1)報告の内容、(2)発言の内容、(3)出席の状況を、中心に行います。単位を取得するためには、3分の2以上の出席が必要条件となります。

評価基準は、一概には言えませんが、全回出席の場合、おおよそ以下のようなことが目安となります。

秀（S）：授業で扱ったテーマについて、opinion leader になれるとみなされる。

優（A）：授業で扱ったテーマについて、自分自身の意見を持っているとみなされる。

良（B）：授業で扱ったテーマについて、よく理解しているとみなされる。

可（C）：授業で扱ったテーマについて、基本的なことは理解しているとみなされる。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、事前に予約を取って下さい。

【学生へのメッセージ】

頭の中だけではなく、心の中でも考えましょう。

机の上で考えるだけではなく、歩いて考えることもしましょう。

身の回りのことを考えるだけではなく、地球規模でも考えましょう。

【その他】